

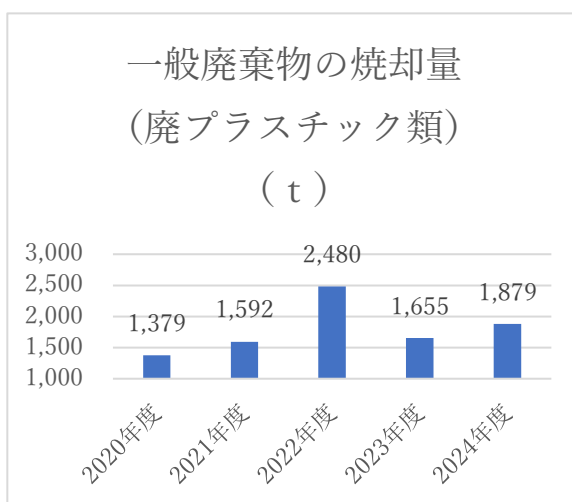
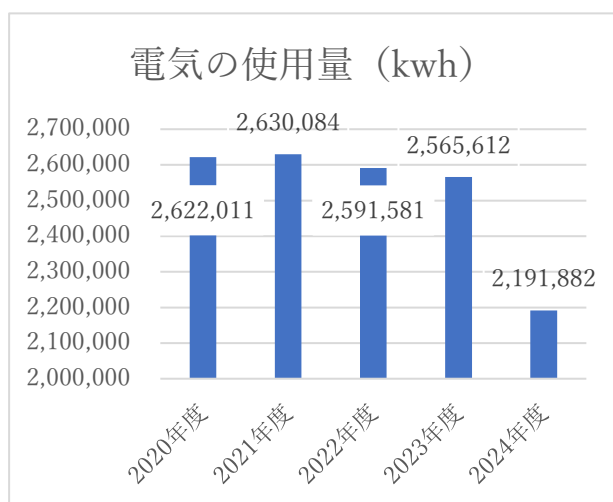
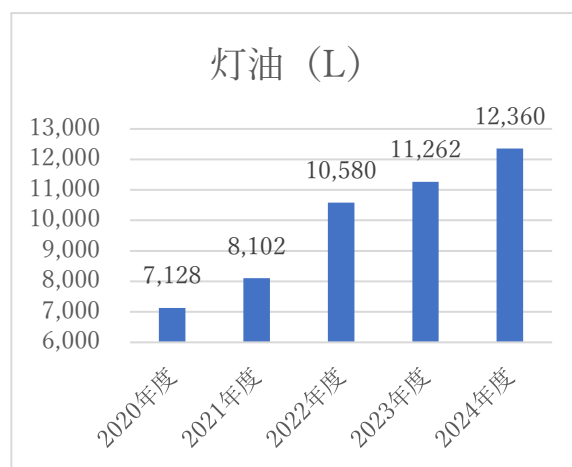
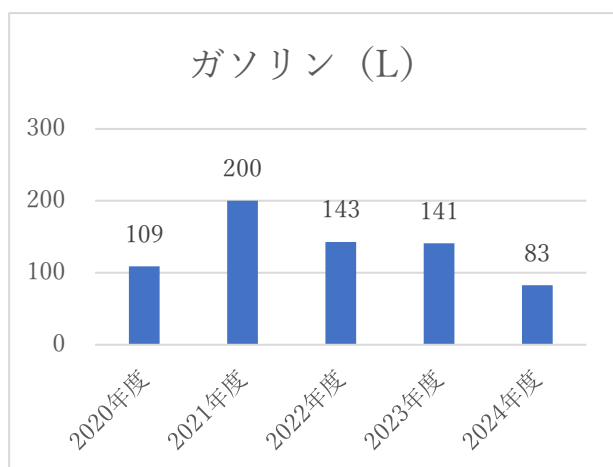
○ 天山地区共同環境組合 地球温暖化対策実行計画 進捗状況  
2024年度（令和6年度）

（1）温室効果ガス総排出量

【二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量】

項目		使用量又は処理量	排出量（kg-CO <sub>2</sub> ）
燃料の使用	ガソリン（L）	83	192
	灯油（L）	12,360	30,770
電気の使用量（kwh）		2,191,882	914,015
一般廃棄物の焼却量（廃プラスチック類）（t）※		1,879	5,079,834
合計			6,024,811

※一般廃棄物の焼却量（廃プラスチック類）＝ごみ焼却量×（100%-水分%）×  
ごみ質分析（ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革組成比率）の年平均値  
＋合成繊維の焼却量（全国平均値より算出）

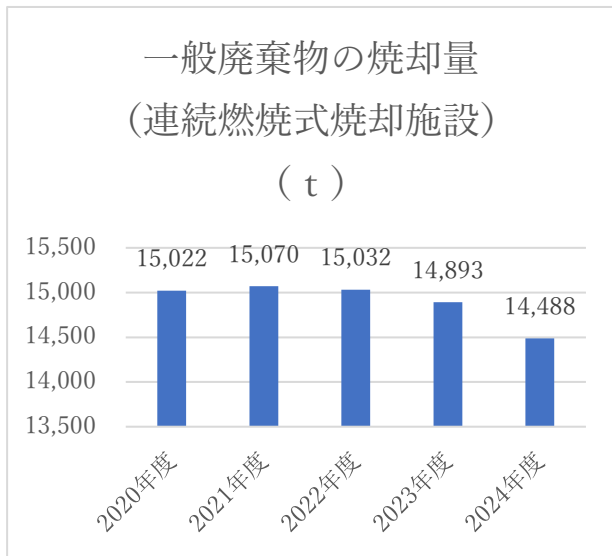


【メタン (CH<sub>4</sub>) 排出量】

項目		処理量又は走行距離	排出量 (kg-CH <sub>4</sub> )
一般廃棄物の焼却 (連続燃焼式焼却施設) (t)		14,488	14
自動車の走行	ガソリン (普通乗用車) (km)	1,543	0.015
合計			14.015

【一酸化二窒素 (N<sub>2</sub>O) 排出量】

項目		処理量又は走行距離	排出量 (kg-N <sub>2</sub> O)
一般廃棄物の焼却 (連続燃焼式焼却施設) (t)		14,488	821
自動車の走行	ガソリン (普通乗用車) (km)	1,543	0.045
合計			821.045



【ハイドロフルオロカーボン (HFC) 排出量】

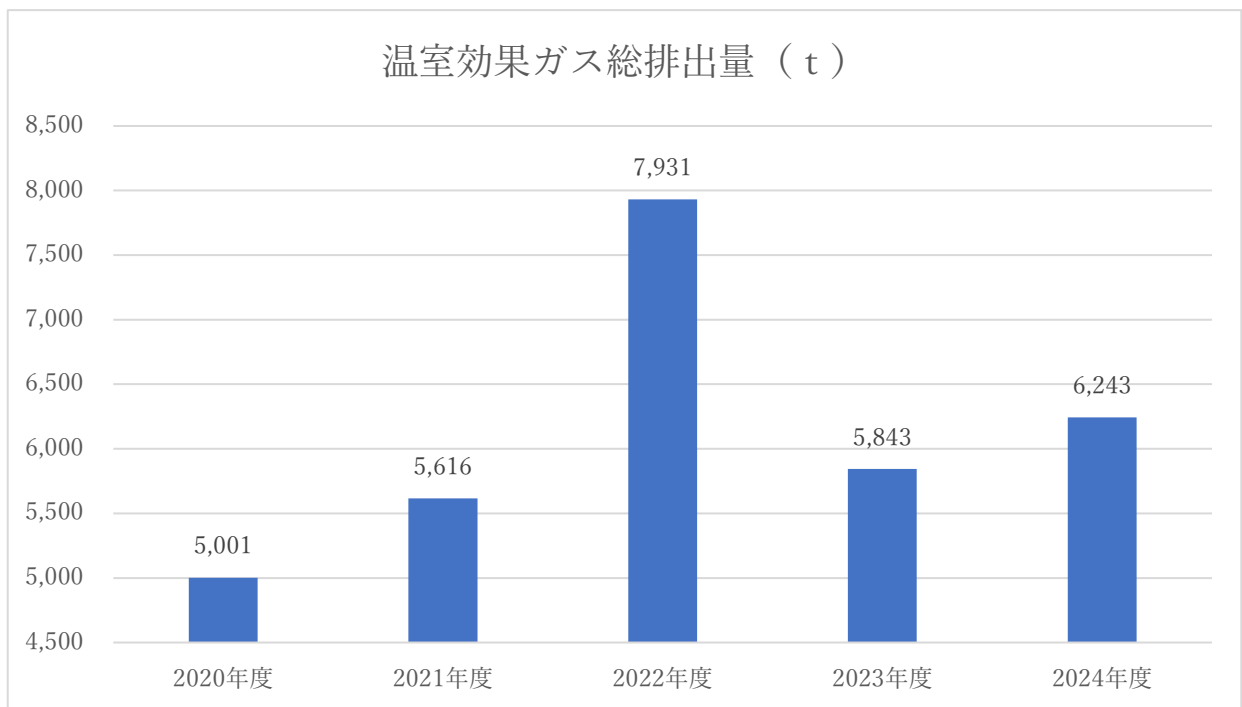
項目	台数	排出量 (kg-HFC)
自動車用エアコンディショナー (台)	1	0.01
合計		0.01

※年度による台数の増減はありません。

【温室効果ガス総排出量（二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）換算）】

温室効果ガスの種類	排出量（t）	地球温暖化係数 ※	二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）換算排出量（t）	割合（%）
二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）	6,025	1	6,025	96.51
メタン（CH <sub>4</sub> ）	0.014	28	0.392	0.01 以下
一酸化二窒素（N <sub>2</sub> O）	0.82	265	218	3.49
ハイドロフルオロカーボン（HFC）	0.00001	1,300	0.013	0.01 以下
合計			6,243.405	100

※地球温暖化係数とは、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を基準とし、温室効果ガスである物質ごとに地球温暖化に対する比を示す数値として国際的に認められた知見に基づき政令で定められた係数。

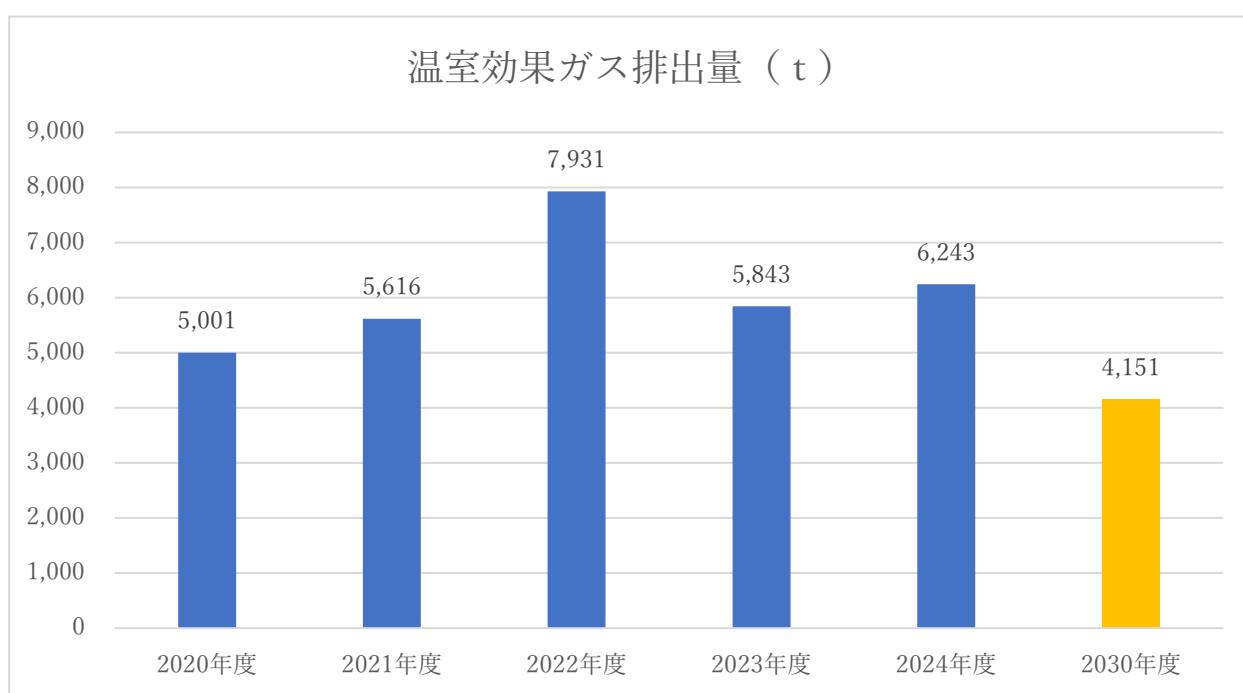


## ○ 温室効果ガスの排出削減目標

### (1) 温室効果ガスの削減目標

目標年度（2030年度（令和12年度））に、基準年度（2020年度（令和2年度））比で17%削減することを目標としています。

項目	基準年度（2020年度）	目標年度（2030年度）
温室効果ガスの排出量	5,001 t	4,151 t
削減率	—	17%



### (2) 2024年度（令和6年度）温室効果ガスの排出状況

2024年度（令和6年度）の温室効果ガスの排出量は6,243 tとなり、前年度より400 t増加、基準年度の2020年度（令和2年度）との比較では1,242 tの増加（基準年度比25%増）という結果となりました。

当施設は、廃棄物処理に伴う排出が大半を占めており、その結果が影響します。

近年、焼却量の総量は減少傾向にありますが、廃プラスチック類の割合増加が排出量に影響しています。

今後も廃棄物処理の抑制に重点を置きつつ、確実な目標達成に向け、次のように取組みを行ってまいります。

## ○ 目標達成に向けた取組み

### (1) 取組みの基本方針

温室効果ガスの排出要因である一般廃棄物の焼却量の減量化に重点的に取り組み、また、電気使用量、灯油・ガソリンなどの燃料使用量の削減を継続していきます。

### (2) 具体的な取組み内容

#### ①一般廃棄物の焼却量の減量化

- ・ 構成市との連携・協力をを行い廃棄物の分別・排出抑制に努めます。
- ・ 当施設の施設見学者に対して、排出抑制の推進・啓発に努めます。

#### ②電気使用量の削減

- ・ 不要な照明を消灯し、電気製品はこまめに電源を切ります。
- ・ 空調は運転時間や適正な設定温度を心掛けます。
- ・ 昼休みには支障のない範囲で消灯します。
- ・ 見学施設、会議室などの使用後は速やかに消灯します。

#### ③燃料使用量の削減

- ・ 計画的かつ安定した廃棄物の焼却を実施し、助燃用灯油の使用量削減に努めます。
- ・ 公用車の効率的な運用を実施し、運転に際してはエコドライブを実践します。

#### ④その他の取組み

- ・ 職員への意識啓発を進め、省エネルギー・節電等の取組みを定着させます。